

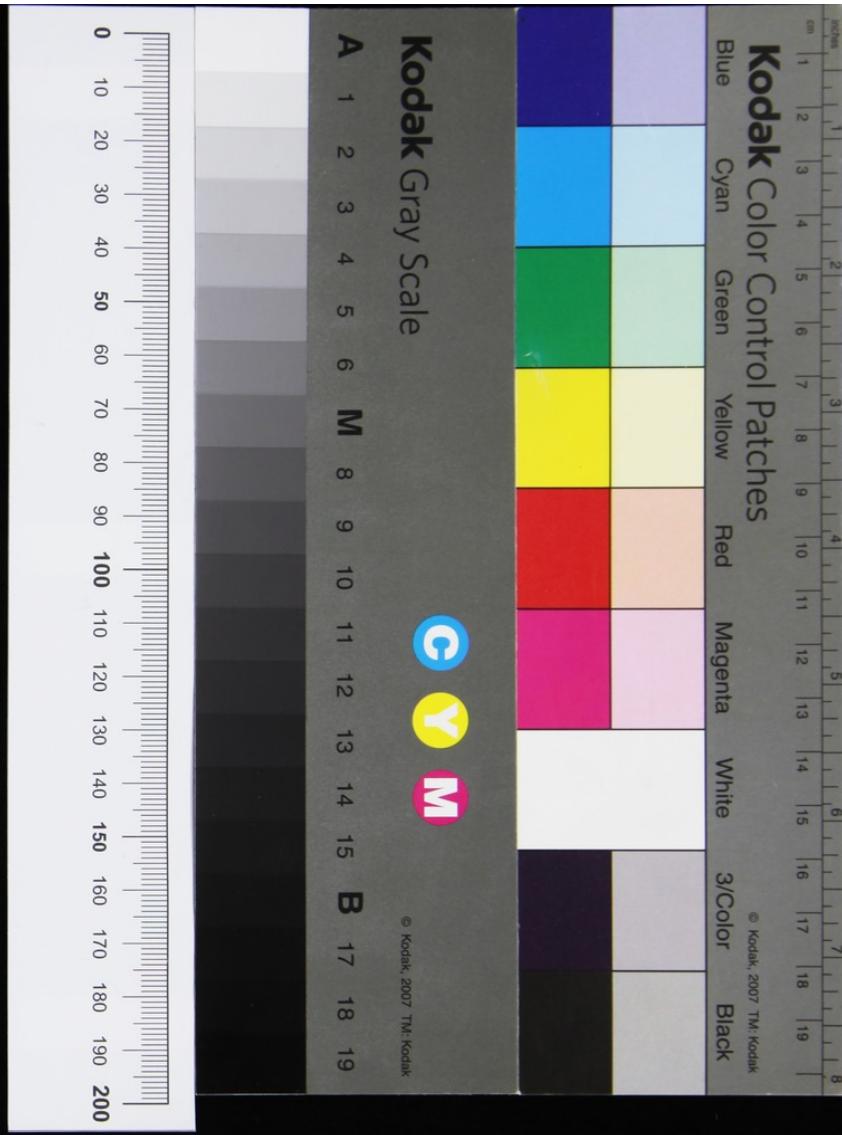
# 絵入源氏物語

## 卷六 すゑつむ花

楣山女学園大学デジタルライブラリー

楣山女学園大学図書館

1 絵入源氏物語 六巻



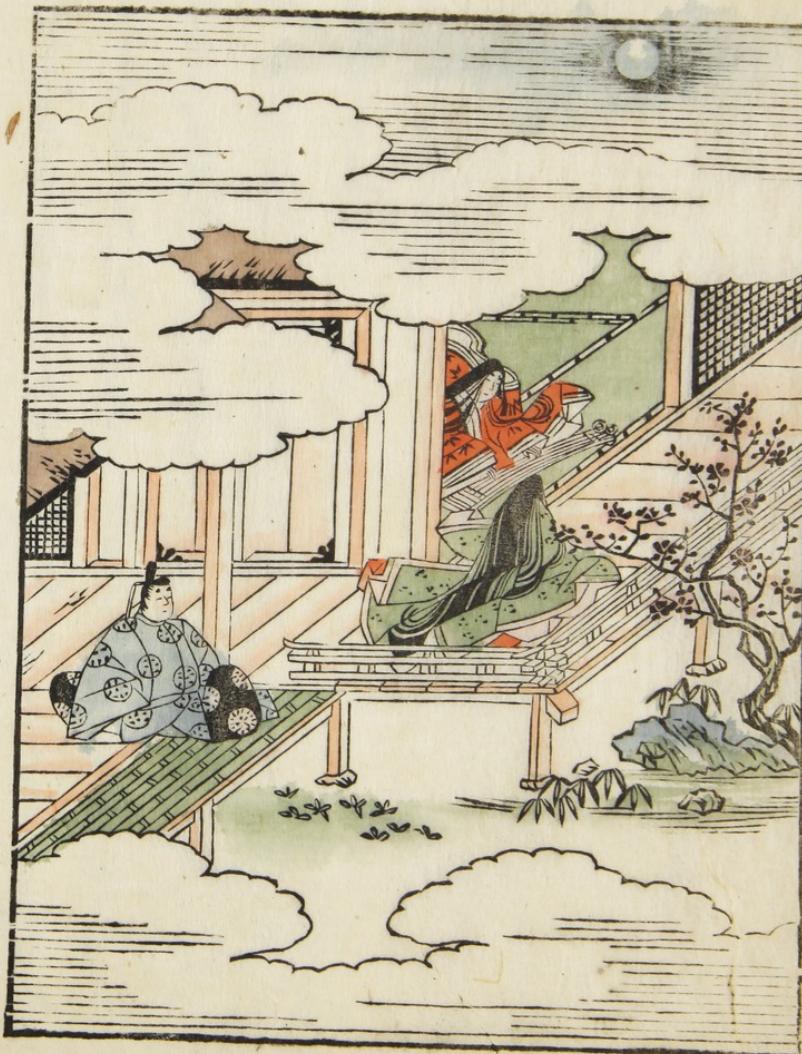
思へどもすとうござりタグのがよ  
御の心うちかく月あれどもばくよすれすく  
くらむ。うらめきぬうごうのうそをばくふかく  
うの山いはくよまげらくすくうくらむ  
うれきるやうにまくらくわくいふ  
くちくちのまくらく。うらうしげなんの  
つまうくまくまくまくまくまくまくまく  
すまうがくわくばくすくやへづくくまく  
うらうがくまくまくまくまくまくまくまく  
やくらばくらうぞうぞうぞうぞうぞうぞう  
うくらうくらうくらうくらうくらうくらう



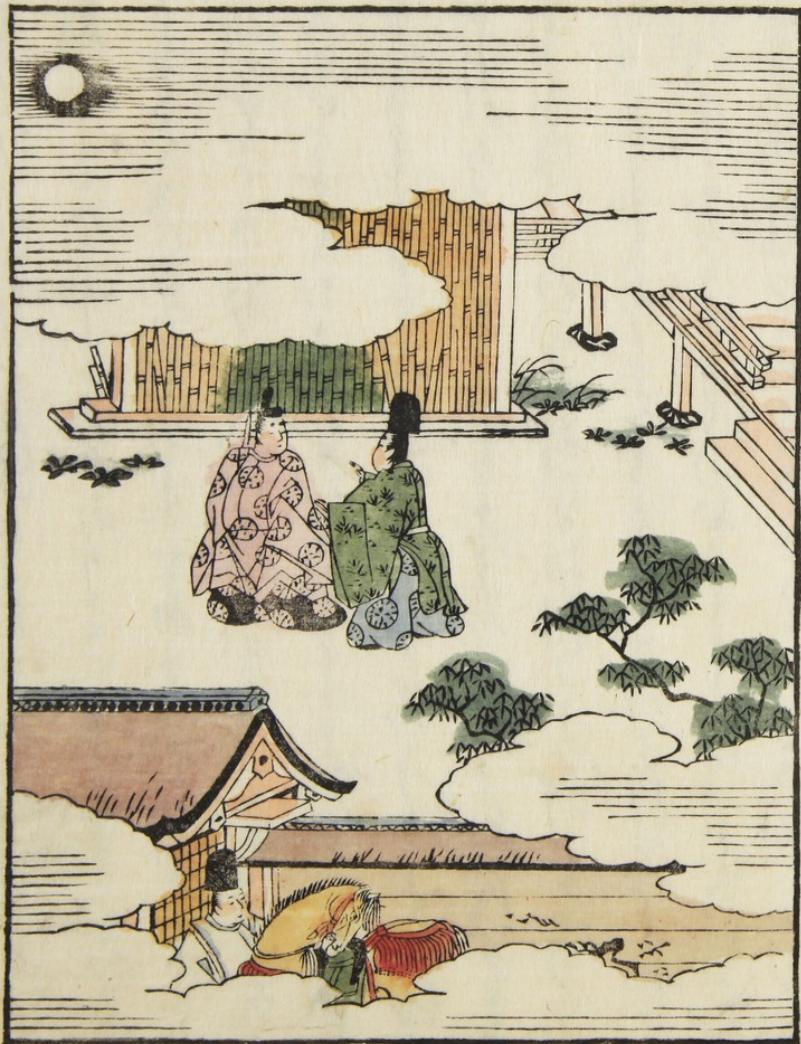


まのね  
 うれしうるうとくれゆりてすんあは  
 いそぞ入よえうけとまくわくうち  
 うれとくわくわくらへをうれし  
 りふくのうくわくやうくわく  
 まくいふくわくわくとほづのまく  
 まくまくわくわくうるわくわく  
 まくねぐのねぐのすらまくわくわく  
 まくわくわくわくわくわくわく  
 まくあるだりの人のうくわく  
 うくわくわくわくわくわくわく  
 うくわくわくわくわくわくわく  
 うくわくわくわくわくわくわく  
 ひくわく

今夜はとあつまれる。けり。うらやましくて。  
 とせひあれど。くわりぐらむゆめり。ものうとみのさんと  
 作りつぶよひづくよもと。今心のよもよと。こゝへ  
 焼りをとく。ひづくもとくのうさで。うりうれし  
 うづくをうけとく。もやとめられ。それすく宿  
 るもあ。ぐねつうとのまよひ。おきと見る  
 まぶすとく。うきうきとく。ひづくもとくや  
 ませくとのよへど。こうよくとくとくへばげてやいと  
 うすくすく。うきよくとくとくへばげて。うきうきとく  
 もれへとく。うきよくとくとくへばげて。うきうきとく  
 うきよくとくとくへばげて。うきよくとくとくへばげて



まふがほんのまほ。まほとあれす。おれ  
 よ物のうへのゆはくあればやうのうを  
 ほのうへてこひあまちぢりゆるうやめ  
 らんとあひてうらしまふ。金骨のまほ  
 ゆほくまほとよてをあこまくせゆる。  
 おうじあふくらむかくゆれ。やうのゆ  
 やれあいとハやんじけんとまゆる  
 ればちううらわいてどり人のいもんやう  
 よくられあらわれて。これをあぐくあきす  
 まくらくまくら。あの有様。うんとのまへ  
 あきうらめうらとがまく。竹のゆを  
 うへうへあひて。地もいそよんづんのまへ。  
 みけひらめうらとがまく。竹のゆを  
 うでまづふうのよどすう。かれのうりうるく  
 れのくよ立ちぬくよくうりうる男の  
 う。准をくわけたすきぬれありうりとく  
 うて。げよつてくらうれゆへ。家中ねまう  
 う。げタつてうりうりよくよくうでうけ  
 やびだれよみうば二重院。よりけで。引罰  
 あけうと。づりよんと。うでをうで。われもく  
 あれど。ぬよつみてうぶひう。あやかこ馬よ  
 りをあすぐのまひがくらます。うればまう



ましむよ。すゞよううとこころのひめられば、心と  
 えひけり。宿のわるいつらひてうよび  
 や出まくとも、もじりてうよあゆみのきゆる。  
 そぞ。我とくすれどとぬく行ふあゆみのきゆる。  
 せうてすうたをかくつるはうづくまうる  
松  
 きらきらのあうら山さりてつれどつるる  
 とくねりの月と、うしろのうづくまうる  
 とくねりの月と、うしろのうづくまうる  
 め  
松  
 とくねりの月と、うしろのうづくまうる  
 やまくわるいがゆ。



すりれば地即ちくつらうるさくらうて  
 すきしどげくうりうりててまわるのをよ  
 うもすれさんむすゞの心ばくおもひうれ  
 うむすらうりう琴のをとくほへて表す  
 つするのうぬをどもやうびへうりう  
 そひつけあくまうじゆうじゆうらう  
 人のよきとくとくねゆくとくとくとく  
 いとううううううううううううう  
 ぐやう心ゆくとくとくとくとくとく  
 そひううれのうううううううううう  
 そひすうううううううううううう  
 うううううううううううううう  
 まべいづれもく事すらほつるく第  
 うううううううううううううう  
 もうひす人ふれらひもうううううう  
 本草の色よううううううううう  
 うううううううううううううう  
 うれらめうううううううううう  
 づうううううううううううう  
 クう例のうううううううううう  
 事うううううううううううう



12





わざとわざひきもとてうりかわばくらひほくく  
ぬすはるまとてうりかわばくらひほくく  
よもととへ第者さすよ人のつよしは  
つよしもいまだのゆうてけくへまくで。まく  
まくとあはがく／＼まくとてこだりさんと  
のまふ<sup>金匱門</sup>その、おどハジんをうねあんとまくと  
あくくとまかはまくとまくとまくとまくとまく  
りおこしておまかはまくとまくとまくとまくとまく  
つまくとてばまくとまくとまくとまくとまくとまく  
まきげよおはれどうやうのまくの  
りまくとまくとまくとまくとまくとまくとまくとまく  
令媛のうりとまくとまくとまくとまくとまくとまく  
あがれとまくとまくとまくとまくとまくとまくとまく  
タまくとまくとまくとまくとまくとまくとまくとまく  
まくとまくとまくとまくとまくとまくとまくとまく  
ゆくとまくとまくとまくとまくとまくとまくとまく  
ゆくとまくとまくとまくとまくとまくとまくとまく  
をりくへづろひアノやればうとみのたまゆのん  
げくとまくとまくとまくとまくとまくとまくとまく  
まくとまくとまくとまくとまくとまくとまくとまく  
まくとまくとまくとまくとまくとまくとまくとまく  
まくとまくとまくとまくとまくとまくとまくとまく  
まくとまくとまくとまくとまくとまくとまくとまく  
令媛もまくとまくとまくとまくとまくとまくとまく

そぞうもろやすうへすまざうとがくもりぬ  
 もどときひけりげられよあれもるつみそり  
 じとくにぐりき人のゆゑをひやりてえすく  
 やすくさひかわく。ほんの人のゆゑとおほきば  
 ざれくいびふくやうのくへいりくらむよ  
 すうふくゆうとゆがわくよくうきの  
 くれておざりうりうきよけくひ。おひやく  
 えびのうへくすくうりうけり生ておれとく  
 せれぐくわく。年はさひわく。まぬをどく  
 くのうひでくれど。おれでちうきく。ひく  
 くでちうく。わくよれわくやとうちをげきよ  
 いくくくうびきく。まくまくめく  
 のかりひととくあくまく。のうひよくよ  
 く。まくまくとくとくとのうふ。おぞのゆめと  
 こく。うくとく。やまくとく。わくとく。ゆと  
 く。うくとく。うくとく。うくとく。  
 小経  
 ねづかくとくらさんとくすぐくとく  
 まくとくとく。あやまくとく。わくとくとくの  
 まくとくとく。あやまくとく。わくとくとくの  
 まくとくとく。あやまくとく。わくとくとくの  
 まくとくとく。あやまくとく。わくとくとくの





まよひのあめか雲アメカクラはどばくよ  
心ハりとくらうとけりふりもすちどき  
人ヒトのよぶれておとくとぞとぞとぞとぞとぞとぞ  
そくのソクノあぐれどアグレドまきマキさひとぞとぞとぞとぞとぞとぞとぞとぞとぞとぞ  
そく縛タツるのやうよみてけ縛タツねば重タヂしきぬ  
とてゆくヤクシ御ミサのくへまよひ

ひいきまくらをうつておはすのあはきめぐら  
 そとぬすよれかへばりよはくわばつる  
 うて秋くわくみれにれひくとて色  
 り行草らくすりて試車  
 金輪まきわくいもとをひりてゆくわ  
 とハりばくすりて金輪  
 れる心ぞんぶかんくろじく  
 そくすくよそくうふくとくとく  
 てやこなんとくとくとくとくとくとくとく  
 もすくどれのそんとくへんばとくとく











中華書局影印  
宋人集

あき日暮のされうるひはとけなくぐれど  
うのじすがくあんどのりべどすくとく  
りういてくらまげをもよしりれど  
きの車くるまをせうる門もんのよしゆくゆぐみ  
うほひてよみとくとくとくとくとくとく  
へうくとくとくとくとくとくとくとくとく  
まぐくよ松まつの音おとのあくびよけよすりつよふ  
のうちとてわ表あひをとび人ひとのひくは  
うとくやうけりよけよ心こころぐく  
ううげをん人ひとをよすとくとくとく



けりとくはいはうへらへきすくかすとくひて  
 おのえよつまくわくとくもづれかうせ  
 げふくわくらむひそでれはくあすれゆ戦中  
 將よされをくくくくくくくくくくくく  
 ひくうねようくひくれじくまくにけれゑん  
 とすべすうしゆばとじれすくねどおとくか  
 かこかたまくをほぞだもいとくてもやみ  
 めべととくくくくくくくくくくくく  
 いとくくくくくやうすくはよつよとづれよ  
 かくとくとくとくとくとくとくとくとく  
 とくとくとくとくとくとくとくとくとく





てこれハトトくすへきとてはとて。う  
 ゆも胸<sup>金匱</sup>アツミのくさびあらう。  
 白いぐらハナクシテテアム。アム  
 モトリ。帝<sup>ホ</sup>  
本稿  
 がくまのアキレ被<sup>金匱</sup>はら  
 つのモニカス。うちのうきくらむ。いき  
 くらむ。アタマ<sup>金匱</sup>アタマ<sup>金匱</sup>  
 ハナリ。アレをいそにうかく思へ  
 き。アタマ<sup>金匱</sup>アタマ<sup>金匱</sup>アタマ<sup>金匱</sup>  
 ハナリ。アタマ<sup>金匱</sup>アタマ<sup>金匱</sup>アタマ<sup>金匱</sup>  
 あらん。アタマ<sup>金匱</sup>アタマ<sup>金匱</sup>アタマ<sup>金匱</sup>  
 うなぎ。御<sup>金匱</sup>アタマ<sup>金匱</sup>アタマ<sup>金匱</sup>  
 うれし。心<sup>金匱</sup>アタマ<sup>金匱</sup>アタマ<sup>金匱</sup>  
 いき<sup>金匱</sup>アタマ<sup>金匱</sup>アタマ<sup>金匱</sup>  
 そひ<sup>金匱</sup>アタマ<sup>金匱</sup>アタマ<sup>金匱</sup>  
 うめ。アタマ<sup>金匱</sup>アタマ<sup>金匱</sup>アタマ<sup>金匱</sup>  
 すくべ。アタマ<sup>金匱</sup>アタマ<sup>金匱</sup>アタマ<sup>金匱</sup>  
 うと。アタマ<sup>金匱</sup>アタマ<sup>金匱</sup>アタマ<sup>金匱</sup>  
 うと。アタマ<sup>金匱</sup>アタマ<sup>金匱</sup>アタマ<sup>金匱</sup>  
 えゆす。アタマ<sup>金匱</sup>アタマ<sup>金匱</sup>アタマ<sup>金匱</sup>



へひくうのぬやまうげとすく  
うすくくさあくすくとらほく  
けつとひうげとくとくとく  
ゆとくばめよれど  
ほうかうさとくともくまくのまつ  
れと袖とれりんがくとくとく  
もすくく

食ぬる  
それのどもはうをあやうあんといひ  
あすがりくの月げうとほりゆく  
あすがりうとほりゆく

まよひくいもんあるのうのまよひくいもん  
めのくらとあやくひくいもんとくら  
うけりうりがく運行變すくいとゆく  
梅の花の色のくらみの山のくらみとくら  
うくらみしておきのふとくらみとくら  
うくらみとくらみ人ふとくらみとくら  
うくらみとくらみ人ふとくらみとくら  
うくらみとくらみ人ふとくらみとくら  
うくらみとくらみ人ふとくらみとくら  
うくらみとくらみ人ふとくらみとくら  
うくらみとくらみ人ふとくらみとくら







いじへどとくすわざわらう相手のひきあひ  
中よし梅もタマシミコ角あわわらう  
ワモトもあくべーのむのむ梅いづ  
くさくまそじうさまくら  
ゆ  
くれるのれどあやまくらとくら  
の立役ハナリノタレどり、やとあいよくら  
うめくまよかひくくのすくくいこま

